

【学校の教育目標】
 かしこく(自立) あたたく(共生) たくましく(健康) 一歩上のぼく・わたし

【本年度の重点目標】
 ○ 確かな学力の基礎(基礎学力、学び方、学ぶ意欲)の育成
 ○ 社会性の基礎(規範意識、言葉遣い)の育成
 ○ 健康な生活を営む基礎(生活習慣、体力)の育成

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策	
学 力 向 上	かしこく	◎基礎学力の確実な定着、漢字力・計算力90% 〔結果〕漢字力・計算力テスト合格100% ～資料1 ・子どもが考え、発表し、交流しながら学ぶ授業改善に努めた。・学力補充の時間を活用し、個々の学力に合った支援を行った。 ・長期休業後に「漢字力・計算力テスト」を行い、全員が満点になるまで取り組んだ。	3.50	・学力が全国平均を上回っていることは大変素晴らしいことだ。 ・子どもの教育は何はともあれ基礎学力が大切だ。その中でもわからない子がいるときは、全員が満点になるまで取り組んでいるとあり満足できる。 ・学習参観に出席させていただき、児童の授業に対する熱意や態度等に触れ、大変好感を持てた。 ・先生方がよく頑張られていて、学社連携がうまくできている。	・学力向上の土台である、漢字力・計算力の習得について、反復と継続を徹底して行う。特に全員が満点を取るまでという取り組みを継続させる。
		◎家庭学習(宿題+自学+準備)の習慣化 95% 〔結果〕宿題96% 自学95% 準備87% ～資料2 ・宿題・自学については全員が取り組むことができたが、忘れ物をする児童が固定化している。 ・習慣化に向けて、前日の声かけ、毎朝のチェック、保護者への連絡を行った。	3.10	・各家庭の環境や家族構成が種々ある中で、親も子供自身にも難しいと思う。 ・忘れ物をする子供が固定化しているということだが、毎朝(毎夜)の親のチェックが必要だと思う。 ・朝に子供たち同士で忘れ物チェックをしていることが見受けられることから、先生の頑張りがかがえる。	・忘れ物0の児童を学級通信等で知らせたことが有効であったので継続したい。また、忘れ物ゼロが一部定着していない児童がいるため、全体指導と併せて個への支援と指導を強化する。
		◎学びの構え土台作りの徹底 95% 〔結果〕物構え95% 身構え81% 心構え96% ～資料3 ・学びの構えを掲示し、授業の始まりに声を掛け合い、意識させた。・物構えの声かけは、授業の号令とともに徹底した。 ・授業の前に学習に関わる単元の教科書を開き音読するようになった。	3.11	・授業前に学習にかかわる単元の教科書を開いて目を通すまたは、音読をするようになる大変良いことだ。	・学びの構えは学力向上の基礎とあるので、教室前面への啓示を継続し、各学期のチェック及びその分析を継続させ、さらなる徹底を図る。
		◎子供の学びを支える授業の公開実施 全クラス100% 〔結果〕1月までに担任全員の公開授業実施 100% ・研究推進委員会や主題研修の事前・事後研の中で、活発に議論し意見を出すことができた。 ・主題研修に主体的に取り組み、食育を意識した声かけを行った。 ・筑豊教育事務所(算数)・嘉麻市教育センター(国語)・筑豊地区図工教育研究会の授業者として授業公開を行った。	3.50	・全員で授業研究に取り組みされており、子供のために頑張る先生が評価できる。	・全職員で授業研究を行い、来年度の食育の発表会において、子供の姿でその成果が出せるように研究を推進させる。 ・基礎的、基本的な学力の定着を目指した授業改善に全職員で取り組む。
あ た た く	あ た た く	◎規範意識(あいさつ・正しい言葉づかい・返事)の醸成 85% 〔結果〕あいさつ91% 言葉90% 返事97% ～資料4 ・毎日の連絡帳記入で振り返りを行った。守れなかったことをめあてとして机に掲示し、意識付けた。 ・返事が少なく声が小さいので、声かけ、言い直しをさせ、声を出している子を賞賛した。	3.4	・登校時のあいさつがもっとできるようになれば良いと思う。(親がいるとできない。) ・返事が少なく、声も小さいので、声かけ、言い直し、声を出している子を称賛することは大変良いことだ。また、先生たちが校内で大きな声であいさつをして模範を示すと子供がよくなると思う。 ・登下校時だけでなく、帰宅後も笑顔で大きな声であいさつがよくできている。	・登校中のあいさつをはじめ、校外でのあいさつの徹底が課題である。いつでもどこでもあいさつのあふれる学校とするように、まずは教師が率先垂範し、校内でのあいさつを徹底することから始める。
		◎不登校ゼロの堅持 〔結果〕不登校児童0人(不登校傾向児童2人) ・欠席時には、朝と放課後に必ず電話連絡し、必要に応じて家庭訪問をした。 ・支持的風土の学級・学校集団作りを心掛け、子供の良さを大切に、「明日も学校へ行きたい。」という学校作りを行った。	3.00	・欠席、遅刻をしている児童の家に、その日のうちに家庭訪問していることは今後ともよろしく願いたい。	・子供の成長には、『夜早く寝て、朝起きて、ご飯を食べて、学校に来る』、という基本的な生活習慣の確立が大切であるということ、今後も保護者に啓発し、理解と協力が得られるようにする。
		◎読書活動(朝読書・お勧め図書・家庭読書)の推進 年間60冊 〔結果〕2学期末学校平均 57冊 95% ～資料5 ・毎月読書量をチェックし、個別の声かけをした。・本の読み聞かせの取組により、読書の意欲が高まってきている。 ・おすすめ図書を教室に置き、読みやすい環境を整えた。お互いに読み聞かせをし、興味をもたせた。	3.63	・いろいろな方法で、本を読むことの楽しさを子供たちが知ることは大変良いことである、読書は学習の基礎だと思う。 ・読書は、自分の心のたくさんの引き出しになりますので、大いに声かけをしてください。	・読み聞かせボランティアの活用を継続させ、読書意欲のさらなる高揚を図る。図書ポイントカードの活用を進め、朝読書や家庭読書による読書活動の推進を図り、全児童の60冊以上貸出しを達成する。
た く ま し く	た く ま し く	◎1007運動(早寝・早起き・朝ごはん・すっきりうんち)の推進 90% 〔結果〕早寝89% 早起き97% 朝ごはん97% すっきりうんち91% ～資料6 ・朝の会で朝食調べを行い、意識して食べるようになった。・「1007運動」としてPTAと連携して実施。(新家庭教育宣言) ・特に週末の帰りの会で、「早寝・早起き・朝ごはん・すっきりうんち」の声かけをした。・学級通信で家庭へ協力を依頼した。	3.56	・朝食は成長盛りの子供にはエネルギーの源です。親の自覚の問題だ。親と教師のコミュニケーションが大切だと思う。	・「1007カード」取組期間だけでなく、基本的性格習慣の確立の日常化を図るために、学校便りや学級通信等での啓発を行う。
		◎身のまわりの整理・整頓・清掃ができる児童の育成 90% 〔結果〕ロッカー掃除90% もくもく掃除95% ・月ごとにロッカー整理を行い、きれいに使うことができた。・清掃の自己評価を確認し、その後の清掃に生かしていた。 ・整頓ができるように、声かけし、下校時に引き出しを机に出させた。	3.18	・まず自分の学習机の上・周囲の整理ができているか、そのチェックが必要だと思う。それから学校の机ロッカーの整理も大切だ。 ・何かの番組で、「机の椅子は机の中に入れる。履物は必ず出船にする。」とあった。これからの長い人生すべてのことにつながるそうだ。	・自分の身の回りの整理整頓、特に机の中やカバンの中の整理について、日常的の声かけを行い、整理させる習慣を身に付けさせる。
		◎体力アップシートの推進 90% 〔結果〕体力アップシート達成96% ・毎日元気良く外で遊び、2学期の目標は全員が達成することができた。 ・サッカーや縄跳びなど、中休みや昼休みに外で元気に遊んでいた。 ・外遊びを推進し、係活動の一環として全員で遊ぶ日を設定したことで、体力アップシート100%達成できた学級があった。	3.75	・自分たちが子供のころは、昼休みに、「おしくらまんじゅう」や縄跳びをしていた。運動場でたくさん遊ばせてほしい。	・走力、投力について、全国平均よりも下回っているため、体育の時間や、日常の外遊びの時間にそれらの力を補うことができるような手立てを立てて実践する。
地 域 ・ 家 庭 と の 連 携	地 域 ・ 家 庭 と の 連 携	◎学校便りの毎月発行 学級通信の毎週発行 HPの各学期末の更新 〔結果〕学校便り100% 学級通信100% HP更新100% ・毎月の学校便りで、児童の様子や月行事等を地域に発信した。・毎学期末にHPを更新し、児童の様子を発信した。 ・毎週の学級通信の中で、学校・学級の取組をお知らせし、児童の現状、取組みの成果を報告し理解・協力を得ている。	3.70	・毎月の学校便りを楽しみにしている。	・子どもの「現状(課題)」、手立て(願い)、育ってほしい姿が見え、子供の成長がわかる学級通信を発行することを目指す。また、保護者や地域の願いが反映できる学校便りを発信する。
		◎保護者や地域からのアンケートの実施 〔結果〕学習参観・運動会・学習発表会での意見の活用 ～資料7 (保護者・地域からの意見) ・子供たちみんなが楽しく伸び伸び学習していて良かった。・姿勢や返事が今一歩の子供達への指導をお願いしたい。 ・子どもたちの様子から日頃のご指導が行き届いていることがわかり、心から感謝します。牛隈小は地域にとっての宝です。	3.00	・牛隈小でよかつと思える学校づくりができていると思う。 ・学習発表会は、演技者、見学児童共に大変成長している姿を感じ、心が厚くなった。素晴らしい。	・子どもの願いや保護者の願い、さらに地域の願いに寄り添い、実現に向けて実践する学校になるように、日々努力を重ねたい。
総 合 所 見	・本年度も本校の教育活動について、励ましと賞賛の言葉をいただくとともに、温かくまた厳しい貴重なご意見をいただくことができた。あいさつや返事、丁寧な文字、整理整頓など小学校時、特に低学年時の教育の大切さについてさらにしっかりと行ってほしいというご意見をいただいた。今後も『学びの構え、土台づくり』による授業規律の確立や「あいさつ・返事・言葉遣い」等を大切にする規範意識の醸成に向けて、発達段階に応じた子供の育成を図る。 ・11月に行った学習参観の折には、「先生の教えや指導内容を真剣に受け止めて、自分の頭や心の中で学習ができている。」「授業を受けている態度や動作に落ち着きがあり素晴らしい。」というご意見をいただき、学校教育目標の『かしこく』について、評価をしていただいた。また、2月7日に行った学習発表会の折には、「なかよし学級は、上級生が下級生を助けて、立派な演奏ができました。」「1年生の発表を見守る6年生の素敵な姿が、とてもほほえましく思いました。」「各学年共に仲間への思いやりやさしさ、友情、熱意を感じました。」などのご意見をいただき、本校の学校教育目標である『あたたかく』の実現ができていたという評価をいただいた。今後も学校教育目標の実現を目指して、全職員で全児童の教育に携わること大に大切にした教育実践を継続させる。 ・子供の遊びについて、特に携帯電話やゲームの弊害が本年度も話題に上がり、「学校教育の中でしっかりと行わなければ、親任せにはできない。さらには親にも同様の教育が必要である。」というご意見をいただいた。『保護者と学ぶ規範意識育成事業への保護者の参加を増加させる手立ての検討及び、1年生から6年生まで系統的に教育するカリキュラムの整備が必要である。このようなご意見を励みにしてさらに地域に根ざした牛隈小学校として、就労ができる学力、それを支える豊かな心と体力の育成をさらに図りたい。				